

2024年4月23日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

メッセ・デュッセルドルフ、アジアに新たな成長拠点を開設 アジアのビジネスを「Messe Düsseldorf for Asia」に統合

2024年4月10日、シンガポール | メッセ・デュッセルドルフ (Messe Düsseldorf GmbH、本社：ドイツ・デュッセルドルフ、代表取締役社長：ヴォルフラム・N・ディーナー) は、アジアに拠点を構える5つの子会社を統合するネットワークを構築します。今後はこの新たな地域ハブ「メッセ・デュッセルドルフ・フォー・アジア (MDfA)」がシンガポールを拠点にメッセ・デュッセルドルフのアジア事業を担います。この効率的な体制は、アジアでのさらなる成長を、デュッセルドルフ開催の世界をリードする見本市へフィードバックする効果をも見込んでいます。お客様は、地域のニーズに合ったサービスのご提案、窓口の一本化、またアジア・デュッセルドルフ双方におけるさらに強固なビジネスプラットフォームをご利用いただけます。

メッセ・デュッセルドルフは、急成長を遂げるアジア市場における利益の最大化、つまり顧客、株主、そして見本市の拠点であるデュッセルドルフ/ノルトライン・ウェストファーレン州の利益に寄与するための最良の前提条件を備えています。インド、シンガポール、中国、日本に子会社をもつメッセ・デュッセルドルフは、アジアにおいて広範囲にわたり存在感を示すだけでなく、世界10大経済大国のうち中国、インド、日本、ASEAN・東南アジアの4か国で事業を展開しています。アジアは高い成長率が特徴的で、2026年までにインドは年間成長率6~7%で世界の経済成長をリードし、ASEANや中国がこれに続きます。これらの市場は世界経済においてより大きな重みを持つこととなります。

メッセ・デュッセルドルフは、この可能性を最大限に生かすため、アジアに拠点を構える5つの子会社、メッセ・デュッセルドルフ・アジア (シンガポール)、メッセ・デュッセルドルフ・チャイナ (香港)、メッセ・デュッセルドルフ・インド (ニューデリー)、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン (東京)、メッセ・デュッセルドルフ上海 (上海) の5社は、新たな包括的な地域拠点「メッセ・デュッセルドルフ・フォー・アジア」を設立しました。地域統括マリウス・ベルレマン (中国のメッセ・デュッセルドルフの代表取締役社長を兼任)、地域統括代理ガーノット・リングリング (メッセ・デュッセルドルフ・アジア代表取締役社長を兼務) とそのチームは今後、アジアにおけるメッセ・デュッセルドルフ (各国の展示会

やデュッセルドルフの業界ナンバーワンメッセを含む)の出展・来場マーケティングを一元的にコーディネートします。これにより、マーケティング活動や、アジア開催の見本市でのプログラムやコンテンツづくりにおいて、協調的なアプローチが可能になります。

一貫した行動

メッセ・デュッセルドルフのヴォルフラム・N・ディーナー代表取締役社長は、この動きを必要なステップだと見ており、「世界は変化し続けています。経済のパワーバランスは変化し、展示会ビジネスにも影響があります。あらゆる予測が、世界経済の未来はアジアにあることを示しています。そして私たちは、この一歩によりメッセ・デュッセルドルフ、お客様、株主の皆様、デュッセルドルフの経済圏、ノルトライン・ヴェストファーレン州が利益を享受できると確信しています。この地域拠点は、アジア各国での見本市のさらなる成功、そしてデュッセルドルフ開催の世界をリードする見本市へのより多くの出展者・来場者の誘致を促進し、私どもの世界的なポールポジションを強化するものです。」と述べています。

地域統括であるベルレマンは、顧客にとってのメリットを指摘します。「私どもはアジアでの成長を望む企業に、関連するすべてのアジア市場において強力なプラットフォームを提供する唯一のプロバイダです。中国であれインドであれ、東南アジアであれ日本であれ、どこに行っても一貫してメッセ・デュッセルドルフの卓越したサービスを体験することができるのです。」

段階的アプローチ

このプロセスは、まずアジアで開催される8つの医療技術・リハビリ関連の見本市から導入されます。今後は、新しい医療技術・リハビリテーションのコンピテンスセンターがシンガポールを拠点にこれらの見本市を一元的に管理し、その成長を促し、新規見本市を含むポートフォリオを拡大していきます。統括代理であるリングリングは、この分野における計り知れない可能性を強調します。「あらゆるところで感じられる人口動態の変化、高まるインクルージョンの重要性、生活水準の向上、これらはすべて、よりよい医療への欲求と密に関係しています。すべてが医療機器やリハビリテーション・ソリューションに対するニーズの高さ、そしてこれらの分野をカバーする見本市への需要へとつながるのです。」

すべての人にとっての付加価値

ディーナー取締役社長は、「メッセ・デュッセルドルフ・フォー・アジア」を将来への不可欠な投資と考えています。「メッセ・デュッセルドルフの見本市は、関連するすべての成長市場のテーマをカバーしています。私どもはお客様に、メッセ・デュッセルドルフと一緒に常に正しい方向に進んでいるという安心感を与えることができます。アジアの強い地域見本市を通じて、デュッセルドルフのビジネスとアジアのハブとしてのフラッグシップをつくります。そして、デュッセルドルフで開催される世界をリードする見本市に、新しいアジアのお客様を誘致し、将来にわたって各産業のグローバルマーケットリーダーが一堂に会する中心的な見本市として機能し続けることをお約束します。」

メッセ・デュッセルドルフグループについて

メッセ・デュッセルドルフは、世界で最も成功している見本市主催会社に数えられます。ドイツ・デュッセルドルフに拠点を構える 61 万 3,000m²の見本市会場では毎年、各業界ナンバーワンメッセ 20 本を含む約 40 の専門見本市が開催されています。18 のホールには毎年、各業界を代表する国際的なマーケットリーダーや意思決定者が、イノベーションの発表や開拓、意見交換、ネットワークづくりのために一堂に会します。メッセ・デュッセルドルフの専門領域は「機械・製造設備」(特に drupa、K、interpack、glasstec、wire & Tube)、「小売・商業・サービス」(EuroShop、EuroCIS、ProWein)、「健康・医療技術」(MEDICA、COMPAMED、REHACARE)、「ライフスタイル・ビューティー」(BEAUTY、TOP HAIR)、「レジャー」(boot、CARAVAN SALON) です。これらに加え、子会社のデュッセルドルフ・コンGRESSによる数多くの国際会議や企業イベント、カンファレンスが開催されています。海外では、65 のイベントを主催・協賛しています。メッセ・デュッセルドルフグループはドイツ国外の 7 つの子会社を含め、141 か国をカバーする 77 の在外代表部を有し、グローバルなネットワークを築いています。

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンについて

メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン(本社:東京、代表取締役社長:小原暁子)は、ドイツ・デュッセルドルフに本社を置く Messe Düsseldorf GmbH の子会社として 1994 年、東京に設立されました。デュッセルドルフや各国の見本市に参加される日本企業の皆様の海外展開に向けたサポートを行うほか、2024 年 4 月には初主催となる「ProWine Tokyo」を開催し、海外のエキスパートや潜在顧客の日本への誘致も手掛けています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Messe Düsseldorf GmbH

Dr. Andrea Gränzdörffer

Head of Corporate Communications/Press Spokesperson

Phone: +49 (0) 211/4560-555

Email: GraenzdoerfferA@messe-duesseldorf.de

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当:富田

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: mdj@messe-dus.co.jp